



入社式

四月一日（木）、本社にて入社式が開催され、今年には六名がトリーコンの一員に加わりました。

社長祝辞

二〇二一年入社者の皆さん。本日は皆さんをトリーコンの仲間として迎える事が出来、大変嬉しく思っています。ただ一点残念な事は、モンゴルのトウブシンバヤルさんが、このコロナの影響で日本への入国が遅れている事。トウブシンバヤルさんは、本日の入社式、モンゴルからZoomでの参加となっております。

さて、二〇二一年度の新入社員は六名。奇しくも全員が外国籍の人となりました。別に意図して外国籍の方だけを選んだわけではなく、通常通りの選考の結果、偶然にも、全員が外国籍の人になりました。

そして、国籍もベトナム、インド、モンゴル、中国、と四か国に亘り、多彩な顔触れがそろいました。すでに君たちの先輩には、マレーシア、フィリピン、ネパールの人が居て、契約社員にはペルー人、ナイジェリア人が居ますから、トリーコンはかなりグローバルな企業・と云えなすね。

ここで話は変わりますが、世界はコロナウイルスによる感染症の最中にあります。君たちもこの一年、さまざまな面で大変な時間を過ごしたと思います。トリーコンも御多分に漏れず、大変な一年間でした。そして感染予防の観点から、非接触・非対面のためのロボット化や、業務のデジタル化なども進んでいき、業務形態の変更により、都市部から郊外、地方への移住も起こっているようです。更に、自動車のEV化、電力のグリーン化に代表される脱炭素の加速、環境意識の向上による脱プラスチック化、等々、ありとあらゆる面で大きく世の中が変わっているように感じています。

多様な価値観と、若々しいエネルギーです。あなた方を含め、トリーコンには文化、習慣の違う十か国で生まれ育った人々が居ます。お互いに刺激し合い、この変化の激しい時代に、その時代に合った会社へと、皆でトリーコンを変化させましょう！かのダーウィンが言いました。生き残るのは、強いものでもなく、賢いものでもなく、変化に対応するものだ！と。これからの皆さんの活躍を大いに期待します。（一部抜粋）

バトデリガル所長より祝辞

皆さん、株式会社トリーコンへの入社おめでとうございます。川崎事業所のバトです。今日はオンラインという形で、ここで皆さんとお会いできて、大変うれいす。今日から皆さんは、社会人としての人生が始まります。最初はわからないことや悩むことも多くあるかと思いますが、焦らせずに、少しずつ慣れていきましょう。また困った時は先輩上司なんでも相談してね。そして、皆さんには、常に誠意をもって、素直に、何事も全力で行動するように頑張ってください。

私がトリーコンに入社したのは二〇〇九年、リーマンショックが起きていた時期で、世界的に経済不況が起きていました。今はコロナの影響で百年に一度の危機だともいわれています。十二年前のトリーコンと今のトリーコンは大きく違います。会社は大きく変わっています。大きく成長している。「幸せづくり」の経営理念のもと、色々な施策を打ち出し、多くのPJ/T活動を進めており、日々進化していることを実感しています。トリーコンは、社員の成長を重視し、人材育成にとても力を入れている会社です。社員の成長が会社の成長に繋がります。社員の成長には、成長させる会社の環境が必要ですが、社員の努力が必要です。本日から新入社員皆さんと一緒に成長していきましょう。そして会社をさらに発展させ、みんなが幸せづくりを実現しましょう。



新入社員代表挨拶

皆さん、おはようございます。トウカコウと申します。本日の入社式にあたり、誠に僣越ではございますが、新入社員一同を代表してご挨拶させていただきます。株式会社トリーコンの一員として迎えていただき、大変うれしく思っております。

本日は私どものために、入社式を催していただき、心からお礼申し上げます。超水河期と言われる就職難の中で、ここに並んでいる仲間とともに今日この日を迎えるれたことをとても誇らしく思いま

私どもは、今日より晴れて株式会社トリーコンの新入社員としてスタートできる喜びを、この上なく光栄に思っております。これは、今日入社を許された新入社員全員に共通する気持ちであろうと思えます。これからの毎日を、大きな誇りをもって働くことができる会社に入れましたことは、何にもまして幸せです。この幸せを十分に噛みしめながら、大いに勤労意欲を燃やして、会社発展のために全力で尽くす覚悟であります。

新入社員全員、未熟な社会人一年生ですが、若さとチャレンジ精神だけはあつちもりで、今日この日の感動を忘れず、何事にも謙虚な気持ちで全力投球でぶつかっていきたくと思っております。これから、何かとご面倒をお掛けするの戦力となれますよう、厳しくご指導いただきまますよう、よろしくお願い申し上げます。



新入社員代表挨拶をする張さん

時はまさに春爛漫の花の季節です。この入社式での新鮮な感激を、決して風化させないよう、結実へ向けて日々精進していきたいと思以上、簡単ではございますが新入社員を代表して、感謝と決意の言葉とさせていただきます。ありがとうございます。



《新入社員の皆さん》
後方左から：シングさん、トゥブさん、ヴァンファンさん
前方左から：サロラさん、張さん、クインさん
※トゥブさんはモンゴルから、WEBでの参加となりました

新入社員自己紹介

★張 佳宏 (川崎事業所計画G 配属)
皆様はじめまして。新入社員張佳宏と申します。出身地は中国の山西の中部です。今の趣味はバレーボールです。今日から社会人となり株式会社トリーコンの一員として光栄に思っております。川崎事業所に所属になりました。計画グループで仕事にはいろいろ知識を学ぶ必要があるはずですので、これから何かとご面倒をおかけするの戦力となれますよう、早く会社での成長を遂げたいと思っております。よろしくお願い申し上げます。

★ファン ヴァン (藤沢事業所配属)

本日より入社致しました。ファンヴァンと申します。出身はベトナムの海が綺麗なところのタンホア省です。本日より社会人として第一歩を株式会社トリーコンに迎えることを嬉しく思います。初めて出社で緊張していますが、一日早く仕事を覚え、会社に貢献できるように頑張っていきますので、どうぞよろしくお願致します。

★パンワルマハスシグ (習志野事業所配属)

出身地はインドです。明るく性格で時間を守る事と自分をやっています。事を諦めずに最後まできちんとやりま。これからは宜しくお願致します。

★サロラ (川崎事業所常置G 配属)

皆さん、こんにちは。サロラも申します。私の出身地は中国内モンゴル自治区でございます。今年3月日本経済大学経営学科学部から卒業しました。私の趣味は書道を書くこと、本を読むこと、旅行をすることです。日本に来て5年半になりましたが、日本語まだまだです。今まで勉強しながらバイトもしてきましたが、正社員として働くのは初めてなので、仕事に対してわからないことだらけですが、先輩社員の方に積極的に質問しながら、お聞きながら一つずつ覚えて、早く仕事に慣れるように一生懸命頑張りたいと思っております。これから宜しくお願致します。

幸せづくりサミット開催

二月（八日）（木）、第二十回幸せづくりサミットが開催されました。今回のサミットは、昨年十月の開催を予定しておりましたが、コロナウイルスの影響により延期となつていました。そして今回、初のオンライン開催となりました。各事業所、コロナ禍の中で、一年間どのような活動してきたのか、そしてどのように改善を行ってきたのか、とても分かりやすくユニークに発表を行い、実りのある時間であったように感じます。



～トコトコ 春号2～

★会社スローガン★

何も変えないことが一番悪い！

2021年（令和3年）4月15日（木）

横浜金沢事業所 特別賞受賞！

「かながわビジネスオーディション2021（以下、KBA2021）」にて、横浜金沢事業所が『特別賞』を受賞しました！『特別賞』は美質三位に当たる賞ということで、大変光栄に思っております。

まず、KBAについて説明いたします。KBAは神奈川県が年一回開催。新たなビジネスプランを募集・評価し、ビジネスパートナーの出会いの場を提供することを目的としています。今年で二十五回目を迎える歴史あるオーディションです。横浜に事業所が移転して約6年となったのは、ある会社様との出会いがありました。

以前より、経営支援でお世話になっていたIDEC（横浜企業経営支援財団）様のご紹介でお会いした株式会社パネックス様です。パネックス様より、ブラダンの「素材の良さ・実用性の高さ」について高い評価をいただき、「これは絶対に第三者からも評価される製品だ」とオーディションへの応募を打診されたのです。初めは戸惑いましたが、最終的にパネックス社と共同製作という形で、応募する運びとなりました。

これまで四十年近くブラダン製品の製作・販売を行ってききましたが、自社の技術や製品を第三者に評価していただく、まさに公的機関のオーディションに応募することなど考えたこともありませんでした。その点でも、パネックス様にお声掛けいただいたことにも感謝しております。KBA2021の応募総数は一〇八件。その内、二次審査を通過し、最終審査に残ったのは一〇社。例年であれば、最終審査はパシフィコココロ内のアネックスホールにて関係者・来賓等を招いて大々的に行うのだそうです。しかし今回はコロナ禍ということで会場は招待者を少数に抑え、外部に対しては、YouTubeでの生配信という形で行なわれました。YouTubeでの配信により、不特定多数の方々に見ていただくことができ、ブラダン製品並びにトーコンをより幅広く、知ってもらう良い機会となったと思っております。

最終選考一〇社の内、私の発表は

なんと一番手でした。初っ端の登壇で緊張しましたが、結果「特別賞」をいただくことができ、興奮と共に安堵の思いでした。

そしてこの結果には後日談があります。実は、上位賞に選ばれた企業が、主催元である神奈川県・黒岩県知事とお話をする機会をいただいたのです。

場所は神奈川県庁。短い時間でしたが、重厚な造りの県庁と知事ご本人を目の前にし、終始緊張しきりの面会となりました。この時の模様は、神奈川県HP内の「黒岩日記」というページで確認する事ができます。死にも角でも、今回の経験で学んだ事は、トーコン社員クレドの十訓の一つ「失敗を恐れずチャレンジする！」ことの大切さです。日々、当たり前のようにお客様に提供しているサービスや製品、そして一人一人が培ってきたスキルやノウハウは、私たちが思っている以上に、お客様をはじめ外部の方々から評価して頂いている事もあらためて実感できました。素直に、それを自信とし、そして誇りにして、また、新たなチャレンジをしていきたいと思えます。皆さんも「失敗を恐れずチャレンジ！」してみてください。（日比）

◆最終審査動画
かながわビジネスオーディション2021最終審査会（ビジネスプランの発表と表彰） - YouTube
◆情報誌「サポかな」
第239号「2021年3月」情報誌「サポかな」KIP公益財団法人神奈川県産業振興センター（kip.or.jp）
◆黒岩日記写真で見ると！「黒岩日記」令和3年3月30日、神奈川県ホームページ（prekanagawa.jp）



プレゼンをする、日比所長と（株）パネックスの齋藤社長

第六期安全プロジェクト 優良事例に選出！

第六期安全プロジェクトが活動の集大成として厚労省主催・あんぜんコンクールに応募した対策案（体のケアをテーマとした事業）が、優良事例に選出されました。これで六年連続の選出となりました！メンバーに、活動を終えてコメントをいただきました。

「一年間、皆様のご協力誠にありがとうございました。皆様のご協力のおかげで今年も優良事例に選出されたことができました。ご多忙の中、貴重なお時間を割いていただき深く感謝申し上げます。この一年間、プロジェクトを進める中で、多くのことを学ぶことができましたと思えます。第一に学べたことは、プロジェクトを進める難しさです。本題から内容がそれないよう進めること。自分と相手がある小さな差異が、伝えていくうちに大きな差異になってしまひ、うまく伝わらないこと。アンケート作成や各事業所への周知方法を計画すること。一見すると、当たり前のように思えますが、私たちににとっては一番苦労した部分でした。」

第二に学べたことは、メンバー同士、連携をとることです。プロジェクトは一カ月一回開催され、メンバーはそれぞれ別の事業所から選出されているため、参加できないメンバーがいる時の役割分担や、提出物の促進をすることの重要性を学びました。

プロジェクトを通して、他事業所の方々と関わりことができ、また、本社プロジェクトに参加したこと、大変良い経験をする事ができました。これを機に、一緒に参加したメンバーをとって今後もコミュニケーションをとりたいと思えます。次期安全プロジェクトもどうぞよろしくお願いたします。」

◆現在、第七期安全プロジェクトが開始しています。参加メンバーは、成田／和田・東扇島／磯貝・藤沢／平沼／川崎／小野の4名です。今期もどんな対策が施されるのか楽しみですね。



社内写真展入選作品 ★テーマ「光」



『街の明かりと満月』 吉川 亀海 (厚木)



『海を臨む』 菊田 翼 (東扇島)



『月夜に光る海』 中津川 久美子 (総サボ)



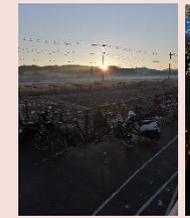
『有明ガーデン』 永井 伸明 (本社)



『輝くピピンパ』 高橋 望 (本社)



『竹あかり(惑星)』 高橋 望 (本社)



『冬の朝日』 加藤 良 (厚木)

※次回写真展テーマは「春の彩」です。皆様のご応募お待ちしております。

『琵琶湖の日の出』



櫻井 誠健 (本社)



『3度目の正直、愛を誓う』 匿名希望さん

『トーコンの光』



永井 伸明 (本社)

『天空』



江川 和典 (チームGS)

拓末会より Vol. 3

本号では「横浜金沢事業所」の活動について報告します。横浜金沢事業所では二週間に一回、事業所の外回りの清掃活動、そして日常の5S活動を実施しております。周囲を綺麗にすることでクリーンな職場が保たれるようになります。きりとした気持ちで仕事を始めることができます。また、社会貢献を実現できるようなブラダン製品の開発も日々検討をしております。これからもSDGsの活動にご協力宜しくお願致します。

◆編集後記◆
かながわビジネスオーディションで特別賞受賞。安全プロジェクトでは6期連続で優秀事例に選出されるなど取り組みが実を結んできていることは実に嬉しい限りです。そんな中、今年もフレッシュな仲間を迎えることが出来ました。『tokondx』も更に進めて行きましょ。